

# 令和2年度 真岡市公共施設等総合管理計画推進市民会議 議事録

■日 時：令和2年11月18日（水）10：00～：12：00

■場 所：真岡市役所本庁舎4階 405会議室

## ■次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員、職員の紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 議事
  - (1) 真岡市公共施設等総合管理計画の進捗状況について
  - (2) 新庁舎の概要
- 6 今後の日程
- 7 閉会
- 8 新庁舎見学会

## ■事前配付資料

- ・真岡市公共施設等総合管理計画の進捗状況
- ・真岡市新庁舎の概要

## ■議 事

- 1 開会
  - ・事務局より、開会あいさつ。
- 2 市長あいさつ
  - ・本日の会議は、平成29年3月に策定した真岡市公共施設等総合管理計画の進捗状況について報告するものである。
  - ・真岡市公共施設等総合管理計画は、公共施設の床面積や更新費用などの縮減を図りながら、公共サービスの維持・向上を図ることを目的としている。
  - ・委員の意見を参考にしながら、今後の計画推進に役立てるとともに、市のホームページ等を通じて情報公開を進めたいと考えている。よろしく願いしたい。

### 3 委員、職員の紹介

- ・事務局より、委員、職員の紹介。

### 4 会長及び副会長の選出

- ・規定に基づき、会長及び副会長の選出。

### 5 議事

#### (1) 真岡市公共施設等総合管理計画の進捗状況について

事務局：資料の説明。

委員：旧学校施設における指定管理者制度の活用等、民間活力の導入は、公共施設の延床面積は減らずとも、維持管理費用が削減できるため、良い取り組みであると感じている。

来年度以降、可能であれば、P.4～P.5「主な取組結果及び今後の予定」の中で、例えば5年以内の除却や建替えを予定している施設の一覧や延床面積の増減の見込みを示してもらえると、P.2表1内の「10年後の目標」と比較でき、分かりやすい。

事務局：指定管理者制度を導入した施設については、来年度以降の進捗状況の報告において維持管理・運営面の効果額を反映する。

公共施設の今後5年程度の建替え等の見込みについては、来年度以降の資料で改善を図る。令和2年度は、新庁舎の供用開始に伴い施設面積が増加するが、将来更新等費用の縮減を図ることを目標に取り組を進めていく。

会長：今後の公共施設の建替え等の見込みについては、少なくとも会議が実施される年度中の予定等については、会議資料に記載してもよいと考える。

会長：「老人憩の家」が除却されたが、一方で行政サービスの水準を維持することも大切である。除却後の対策があれば教えてほしい。

事務局：「老人憩の家」の利用者は老人クラブが多かった。現在は、井頭温泉への送迎を拡充し、これまでと同様の活動ができるように対応した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、老人クラブの活動回数等は減っているが、今後は従来通りの活動ができる見込みである。

会長：老人クラブは全国的にも数が減っている。お年寄りの交流や地域への貢献の面で活動の場を確保することは重要であるため、今後も維持してほしい。

委員：新庁舎周辺整備事業として、図書館機能や子育て支援機能の集約が検討されているが、図書館は既存施設と同規模なのか。今後の整備のイメージを教えてほしい。

事務局：新庁舎周辺整備事業では、図書館機能、屋内型子育て広場、子育て支援センター、地域交流センター等の複合化を予定している。図書館は既存施設と同規模を予定している。なお、現図書館の今後の利活用方針については今後の検討課題である。

また、令和2年1月には旧情報センターに真岡駅子ども広場を開設し、現在、好評をいただいている。新庁舎周辺整備事業では、新たに屋内型の子ども広場を充実させる方針である。また、総合運動公園の北ブロックには屋外型子ども広場を整備し、市内外の方々に利用されている。今後は、民間活力の導入を目指し、予算を確保の後、施設の設計・施工・運営・維持管理を実施する事業者を募集する予定である。

会長：真岡市の公共施設の延床面積の半分以上を占めているのが小中学校である。現在、4つの学校が廃校になったが、統合後の学校の状況を教えてほしい。

委員：真岡市でも少子化が進んでいる。一部の学校では1学年数名～十数名という小規模な学校も存在する。そのような学校では、児童数が少ないため部活動を選択できず、児童は自分のやりたいことができない状況にある。通学はスクールバスや保護者の送迎等で何とか対応できているが、部活動については、スポーツを通して学ぶことは多くあるにもかかわらず、学校でやりたいことができない児童が増加することを危惧している。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時期映像授業を実施していたが、一方的な授業となってしまったと感じた。児童間の学力格差が広がらないように、双方向型のリモート授業等を実施できる設備の充実を図ってほしい。

事務局：学校によって年度毎に児童数が少ないこと等は把握している。状況を見ながら、基準を設けて統廃合の判断を行っていきたいと考えている。現時点では、統合を検討している学校はない。

部活動は児童にとっては楽しみな活動であり、それぞれの学校の中でできる範囲の活動に取り組んでもらっている。

新型コロナウイルス感染症の拡大は由々しき事態であったが、教師に協力してもらい映像授業を提供してきた。今後は、タブレットの活用や分散登校等の仕組みを駆使しながら学びの場を提供していきたいと考えている。

委員：新庁舎の開庁に伴い、新庁舎周辺整備事業で子育て支援センターの充実が進められ、図書館の移転も予定されている。現図書館は築30～40年経過しているが、非常に環境がよい立地にあり、市民が落ち着いて利用できる真岡市の宝と感じている。良いものは今後も残しつつ、バランス

に留意して取組を進めてほしい。

事務局：新庁舎周辺整備事業では、幅広い市民層が読書に親しむ中で、親子で安心して遊べる空間の確保を進めており、子育て支援機能と「動と静の調和」をテーマにした図書館の複合化による相乗効果を期待している。また、まちなかのにぎわいを創出したいという市民の思いを受け、市の中心部への施設の集約化を図る方針を定め、それに合わせて真岡市地域公共交通網形成計画の改定に取り組んでいる。今後はいちごバス、いちごタクシー、第3の公共交通機関等のネットワークの整備を進め、市の中心部に集まりやすいような周辺整備を進めていく。

現図書館は緑に恵まれた落ち着いた空間ではあるが、建物の老朽化が進んでおり、建替えの際のバリアフリーへの対策の必要性等を考慮すると、事業費の削減の観点から、複合化することによって多世代が利用できる施設としたいと考えている。

委員：小学校は教室が余っているため、老人クラブ等の地域の活動に活用できると、移動費の削減や定年世代の人材活用がしやすくなり、地域のつながりを形成できると考えている。また、地域が活性化することにより安心・安全面の向上にもつながるのではないかと。

事務局：現在、学校の余裕教室は、各学校の特別支援教室として活用している。また、県の事業で真岡東中学校をモデル校として、地域住民と学校が協力し合って学校を作っていく「コミュニティスクール」の取組を始めたところである。本検証は2年間を予定しており、今後も、地域と学校が連携できる取り組みを広めていきたいと考えている。

委員：旧本庁舎跡地は駐車場として整備される予定であるが、駐車台数は足りるのか。新庁舎周辺整備事業で整備される複合施設を利用するためには交差点を横断しなければならない。当該複合施設の利用者用駐車場は整備されるのか。複合施設に子育て支援機能を設けるのであれば、小さい子ども連れの母親が雨の日にも利用しやすいように雨除けを歩道に設置する等の工夫があった方がよいと考える。

事務局：複合施設用地内に利用者用駐車場を整備する予定である。また、上下水道庁舎跡地を駐車場として整備する。ただし、土日等に多くの利用者が来場した場合は、旧本庁舎跡地の駐車場を利用してもらうことを想定している。複合施設の前面道路を横断するために、押しボタン式信号機の設置を検討している。

委員：信号待ちのスペースだけでも雨除けの屋根等を設置できないか。

事務局：歩道橋を設置することも検討したが、整備費が膨大になってしまう。現時点では雨除け等の設置は考えていないが、今後、雨天時の対策として、利用者の意見を踏まえながら、傘の貸し出し等のソフト施策を検討し

たい。なお、担当部署に、歩道や信号待ちスペースに雨除け屋根を設置してほしいという意見があったことは報告する。

委員：高齢者は自宅近くの公民館を利用することが多いが、公民館が老朽化していると感じている。公民館の建替えの計画はあるか。

事務局：公民館の建替えの計画はない。現在は、利用者に不便が生じないようにその都度修繕しており、当面は同様の対応を続ける予定である。

委員：P.2表1には10年後の目標が記載されているが、真岡市公共施設等総合管理計画の計画期間である40年後の目標は達成できるのか。

また、旧中村南小学校の利活用において、優先交渉権者はなぜ辞退したのか。辞退の理由によっては、廃校の利活用の適否についても検討が必要と考える。

事務局：真岡市公共施設総合管理計画では、10年毎の4つのステージで計画を進めていくこととしている。最終的には公共施設の延床面積の25.5%縮減を目標としているが、市民の需要や人口減少の状況を見込んで統廃合していくため、現時点では40年後の予想は立てられない。延床面積を減らすだけでなく、民間委託により、維持管理費の縮減や質の高いサービスの提供に総合的に取り組んでいきたいと考えている。

廃校の利活用については、地元住民が学校を残してほしいという強い思いを持っていたため、地域のランドマークとして学校を長く後世に残していきたいと考えている。旧中村南小学校は、事業者が学童保育の場として利用したいということで協定を締結したが、新型コロナウイルス感染症拡大や資金面の問題で辞退に至った。今後、旧中村南小学校と旧東沼小学校の利活用については、事業者がより参画しやすい条件を再検討していく予定である。

委員：新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントを実施しづらくなっている。市民の安全を確保しながら、イベントを実施し、まちの活性化を図っていくために、公共施設にサーマルカメラ等の設置をお願いしたい。

委員：旧長沼北小学校と旧長沼地域体育館を障害者支援施設として利活用しており、団体生活が苦手な方に対して区画割された教室を活用でき、個々の特性に合わせた支援が可能になった。また、空き教室については、令和2年10月から地域への開放を始めた。

(2) 新庁舎の概要

事務局：新庁舎の概要について資料の説明。

真岡駅子ども広場の概要の説明。

6 今後の日程

- ・事務局より、今後の日程について説明。

令和3年度真岡市公共施設等総合管理計画推進市民会議

日 時：令和3年11月上旬（予定）

場 所：真岡市役所本庁舎（予定）

7 閉会

- ・事務局より、閉会あいさつ。

(以上)